

*Pioneer*

パイオニア株式会社

臨時株主総会

## 本日の議案の上程に至る経緯

### フリー・キャッシュ・フロー

2018年3月期連結業績	▲172億円
2019年3月期連結見込み	▲159億円
2020年3月期連結見込み	▲136億円

### 2019年3月期第1四半期連結決算

「**継続企業の前提に関する注記**」記載

株式の発行により、大規模な資金の調達を早期に行うことが必要不可欠と考えるに至りました

## 現状に至った背景および課題

### 経営面

- ◆ **コストマネジメント力**  
売上減少に見合ったコスト削減が図れない
- ◆ **技術マネジメント力**  
事業・ビジネス環境の変化と市場ニーズへの対応が不十分
- ◆ **キャッシュマネジメント力**  
手元資金と開発投資費用のアンバランス

現状に至った背景および課題

事業面：発生した事柄

カーエレクトロニクスOEM事業における  
当初想定を大幅に上回るソフトウェア開発負担

ソフトウェア投資  
負担増による  
キャッシュ・  
フローの悪化

減価償却費の  
大幅増加による  
OEM事業での  
損失拡大

OEMへの  
リソース移管  
による市販製品  
の開発遅れ

カーエレクトロ  
ニクス  
市販事業  
における  
既存ビジネスの  
収益性の低下

## 現状に至った背景および課題

### パイオニアの課題

- ◆ 財務基盤の早期立て直し
- ◆ OEM事業だけでなく全社的に事業・体制を見直し
- ◆ 経営体制の見直しを含めたガバナンスの強化

## パイオニア再建のために必要な抜本施策

### サプライチェーンの見直し

- ◆ 企画・開発・生産・販売体制の見直し
- ◆ 筋肉質で柔軟なモノづくり体制

### 事業ポートフォリオの見直し

- ◆ モノづくりを基盤としたソリューションビジネスの拡大
- ◆ アライアンス強化と事業の選択と集中

### 構造改善

- ◆ 事業体制のスリム化
- ◆ 人員のスリム化（約15%の縮小）

### 経営体制の刷新

- ◆ 取締役の変更
- ◆ 意思決定プロセスの見直し

## BPEA選定までの経緯

- ◆ 2018年6月 **第72回定時株主総会でのご報告**  
ビジネスパートナーとの合併会社化などを含め、OEM事業の抜本的な見直し施策を検討、協議
- ◆ 2018年8月 **2019年3月期 第1四半期連結決算発表**  
**「継続企業の前提に関する注記」記載**  
市販事業の収益性も悪化し、「OEM抜本施策」から「**全社経営改善施策**」に切り替え、スポンサー選定を開始
- ◆ 2018年9月 **ベアリング・プライベート・エクイティ・アジア(BPEA)との**  
**スポンサー支援基本合意書締結を発表**

## 当社が複数のスポンサー候補からBPEAを選定した理由

### 資金面

当社が必要な多額の資金を、当社が希望する時間軸（短時間）で提供する確実性の高い提案をいただけたため

### 今後の方向性

当社の事業に対する深い理解を有し  
当社の成長ストーリーの方向性が当社と合致しているため



## BPEAからの最終提案骨子

昨年9月の基本合意以降、  
BPEAよりデュー・ディリジェンスを受けつつ  
協議・交渉を実施した結果、以下の最終提案を受領

1. 第三者割当による  
新株式発行

2. 株式併合による  
当社の完全子会社化

## BPEAからの最終提案骨子

### 1. 第三者割当による新株式発行

- ◆ 総額770億円の出資（払込金額：1株当たり50円）
  - ① 250億円：実行済みブリッジ・ローンの  
デット・エクイティ・スワップ(DES)にて
  - ② 520億円：金銭出資の方法にて

## BPEAからの最終提案骨子

### 770億円の使途予定（発行諸費用控除後）

① 追加的な運転資金	120億円
② 既存借入金の返済	330億円
③ 構造改善費用	120億円
④ 発行済の新株予約権付社債の償還	150億円
⑤ 成長事業における設備投資	25.4億円

## BPEAからの最終提案骨子

### 2. 株式併合による当社の完全子会社化

- ◆ 総額770億円の新株式発行後、
  - 当社株式4億5千万株を1株に併合(完全子会社化)
- ◆ 株主の皆様には金銭を交付
  - 1株当たり66.1円
  - 総額約250億円

## BPEAからの最終提案に対する当社の判断

### 1. 第三者割当による新株式発行

### 2. 株式併合(当社の完全子会社化)

- ◆ 事業運営に必要な不可欠な運転資金を確保できる
- ◆ 株主の皆様を株価の下落等の更なるリスクにさらす事態を避けられる  
大幅な希薄化が生じることと、短期的には収益性が悪化→株価下落リスク
- ◆ 柔軟かつ機動的な構造改善施策の実行ができる

当社にとっても株主の皆様に対しても  
最善の策であるとの判断に至りました

## 第三者割当払込金額と株主の皆様への交付金額について

### 1. 第三者割当による新株式発行

当社への予定払込金額  
**1株当たり50円**

◆真摯な協議・交渉を経て、複数の手法に基づく株式価値算定結果の範囲内で合意

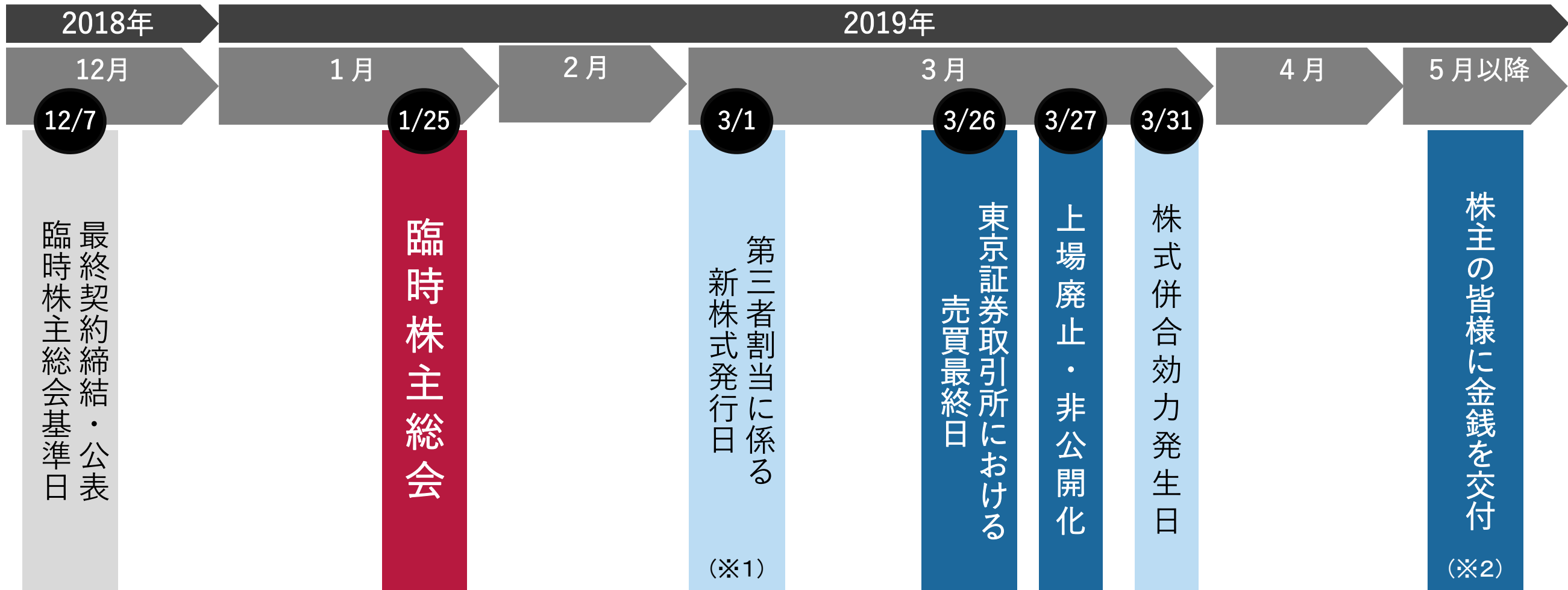
### 2. 株式併合(当社の完全子会社化)

株主様への予定交付金額  
**1株当たり66.1円**

◆複数回にわたる交渉により、引上げを実現した上で合意

- ・赤坂国際会計から株式価値算定書およびフェアネス・オピニオンを入手
- ・独立した立場の社外役員から意見の取得

## 手続きおよび日程の概要（予定）



- ※1 2019年3月1日に第三者割当に係る新株式の発行を予定しておりますが、それまでに当該発行のために必要とされる各国の競争法に関する手続等が終了していない場合には、後ろ倒しとなる予定です。その場合、以降の日程は異なることとなります。
- ※2 現株主の皆様への金銭の支払い手続の開始時期は株式併合の効力発生日から2か月程度後を予定しておりますが、裁判所の許可日その他手続上の理由等により、上記予定より遅れる可能性があります。

## 本日の決議事項

- 第1号議案 発行可能株式総数の増加のための定款一部変更の件
- 第2号議案 第三者割当による募集株式の発行(DES)の件
- 第3号議案 発行可能株式総数の増加のための定款一部変更の件
- 第4号議案 第三者割当による募集株式の発行(金銭出資)の件
- 第5号議案 株式併合の件
- 第6号議案 単元株式数の定め廃止に関する定款一部変更の件

第三者割当による  
新株式発行250億円  
(DES)に関する事項

第三者割当による  
新株式発行520億円  
(金銭出資)  
に関する事項

株式併合による当社の  
完全子会社化に  
関する事項

第1号議案から第6号議案までの全てにご承認くださることが必要となります。



長年にわたる当社への多大なご支援に対し、  
心より感謝申し上げます。

パイオニア再生のため、ご賛同くださいますよう、  
何卒よろしくお願ひ申し上げます。

*Pioneer*